

第2回 高度デザイン人材育成研究会 議事要旨

1. 日時・場所

日時：平成30年12月18日（火）17時00分～19時00分

場所：株式会社コンセント クリエイティブスペース amu

2. 出席委員（6名）

長谷川委員（座長）、岩佐委員、上田委員、江渡委員、丸山委員、山崎委員

3. 議事概要

はじめに、第1回研究会の振り返りを行った。次に、既存の「BTD（ビジネス・テクノロジー・デザイン）」のベン図の考え方やそれらを取り巻く環境について時間軸を捉えながら改めて議論し、本研究会で言及すべきスコープを定めた。後半では、教育の環境・場づくりや、研究会委員が考える未来の高度デザイン人材像等についての議論がなされた。これらを踏まえつつ、事務局からカリキュラムの検討状況の共有を行い、今後の方針を討議した。

本研究会での主な要点は以下の通り。

- 本研究会で定義する高度デザイン人材は、BTD ベン図中央の3領域の重なる部分のみでなく、Dの領域とBまたはTの領域が重なる部分（BD及びTD）の越境人材も含むこととし、第1回研究会において提示された5類型を見直し、再定義する。
- BTD それぞれの円が示すものが何であるか、すなわち、領域（ディスシプリン）か、視点（パースペクティブ）か、活動（アクティビティー）か、職能（スキル）か等を再考する。
- 時代によって高度デザイン人材像は変化する。BTDを取り巻く環境がどのように変化し、どのようにDが変遷してきたかを改めて捉え直す。本研究で10年後の人材像の内容までは提言できないが、今後の検討の必要性については言及する。
- 一方、BTDのベン図によって高度デザイン人材像を表すことは困難との意見があった。
- 学びの形態や環境など、場（ば）の要素は人材育成に大きな影響を与えるため、本研究でも触れておくべき項目である。

以上

問合せ先

経済産業省 商務・サービスグループ クールジャパン政策課

電話：03-3501-1750

FAX：03-3501-6782